

令和7年度 滋賀県総合教育センター 第68回研究発表大会（最終案内）

◆ 大会テーマ ◆

子どもと教職員が共に目指す「探究的な学び」
－次期学習指導要領の改訂を見据えて－

開催日 令和8年(2026年)2月13日(金)

滋賀県総合教育センターでは、滋賀の子どもたちの学びの質を高める研究を、様々な視点から行っています。
ぜひ様々な研究発表に御参加いただき、子どもたちの多様な学びに触れ、今後の教育活動にお役立てください。

■ 特別講演(10:15~12:00)

「深い学び」と探究－デジタル学習基盤を踏まえて－

文部科学省 初等中等教育局
主任視学官

田村 学氏

■ 研究発表 I (13:00~14:00)

発表番号	研究	教科・領域等	対象	研究主題
I	① プロジェクト研究	授業づくり	小・中学校	小・中学校における子どもが主体となる授業づくり －子どもが自らの学びを調整する機会の充実を通して－
	② 派遣研究	国語科	小学校	小学校国語科における自分の考えをまとめ、表現することができる児童の育成 －児童が主体的に対話を通じて交流したり、学びを振り返ったりすることを通して－
	③ プロジェクト研究	地理歴史科 公民科	高等学校	主体的に学習に取り組む態度を養う高等学校の授業改善 －地理歴史科、公民科における探究の過程を通じた学習活動の充実－
	④ 滋賀大学 教職大学院	学校経営力 開発コース ダイバーシティ 教育力開発コース	小学校	「新たな教師の学びの姿」を実現する校内研修の在り方について －つながりを深め、協働的に学ぶ同僚性の構築－
			小学校	通常学級担任と特別支援学級担任の効果的な連携の在り方について

■ 研究発表 II (14:15~15:15)

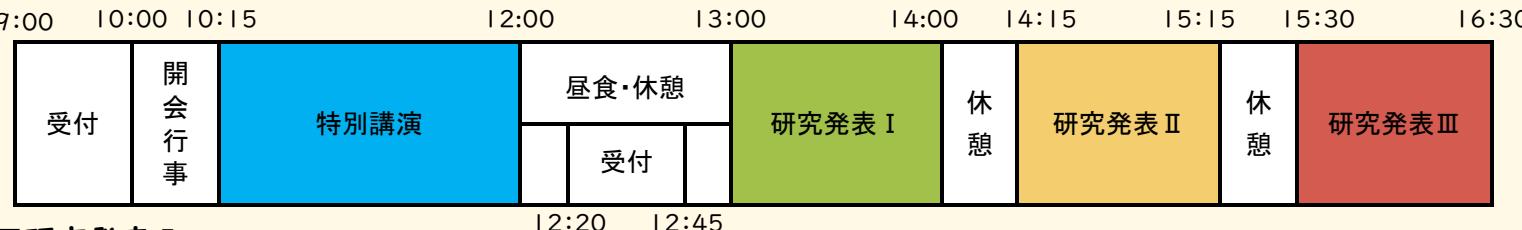
※滋賀大学教職大学院との連携による発表枠を設けています。

発表番号	研究	教科・領域等	対象	研究主題
II	⑤ プロジェクト研究	特別活動	小学校	一人一人のキャリア形成と自己実現に向けたキャリア教育のあり方 －「見通し立て、振り返る」活動を重視した学級活動の実践を通して－
	⑥ プロジェクト研究	研修観の転換に伴う 探究型研修づくり		「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた探究型研修のあり方 －教職員一人一人の豊かな気付きを醸成する探究型研修デザインを通して－
	⑦ 派遣研究	特別支援教育	中学校	中学校における「共に学ぶ」視点に立った授業づくり －特別支援学級での構想から実践、省察を校内で共有する取組を通して－
	⑧ 滋賀大学 教職大学院	教育実践力 開発コース	小学校 中学校	問い合わせのデザイン論に基づく総合的な学習の時間の単元構想と授業者支援OJT －深い気づきにつながる探究的な学びの促進に向けて－ 教師の指導スタイルが生徒の納得感に与える影響 －教師の自己評価と生徒の認知のギャップに着目して－

■ 研究発表 III (15:30~16:30)

※滋賀大学教職大学院との連携による発表枠を設けています。

発表番号	研究	教科・領域等	対象	研究主題
III	⑨ プロジェクト研究	不登校支援	小・中学校	児童生徒が安心して学び、成長できるSSRのあり方 －社会的自立を見据えた切れ目のない支援を通して－
	⑩ 派遣研究	算数科	小学校	児童が学びをつなぎ、新たな気付きを生み出す授業づくり －小学校算数科における「授業改善シート」を活用した授業構想と授業評価を通して－
	⑪ 派遣研究	ICT活用	特別支援学校	特別支援学校における子どもの可能性を引き出すICT活用のあり方 －実態に応じた指導・支援の充実と校内連携・情報共有を通して－
	⑫ 特別研究	教育データサイエンス		データを活用した多角的な見取りによる研究の質的向上 －データ分析と授業観察を関連させて－



■ 研究発表 I

発表番号 I -①

子どもが自らの学びを調整する機会の充実を通して、子どもが主体となる授業を目指しました。



発表番号 I -②

考えをまとめ、表現することができる児童の育成を目指して、小学校国語科の授業づくりに取り組みました。



発表番号 I -③

地歴・公民科において生徒の主体的に学習に取り組む態度を養う授業を目指しました。



■ 参加申込方法

滋賀県総合教育センターホームページから参加申込フォームにてお申込みください。なお、同時間帯の発表については、一つの発表のみのお申込みとなります。

<https://www.shiga-ec.ed.jp/>

申込ページはこちら



令和8年1月29日(木)までにお申込みください。また、手話通訳等の合理的配慮が必要な場合は、1月9日(金)までに申込むとともに、必ず電話で配慮事項をお伝えください。

■ 連絡

受付の時間に限らず、都合のよい時刻から御参加いただけます。
発表会場については、研究発表大会当日にお知らせします。

参加の方は、近隣の希望が丘文化公園の駐車場(有料: 500円 現金のみ)を御利用ください。(センター内駐車場は関係者専用駐車場となります)

弁当等の販売はありません。また近隣にコンビニ等もございません。昼食は各自で御用意ください。

当日の朝7時現在で、滋賀県内に「特別警報」または「暴風を含む警報」が発表されている場合は、中止します。

大会に関する最新の情報、会場への案内地図等については、滋賀県総合教育センターホームページを御覧ください。

■ 問合せ先

〒520-2321

滋賀県野洲市北桜978-95

滋賀県総合教育センター
研究発表大会実行委員会事務局
TEL 077-588-2311(代表)
E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp



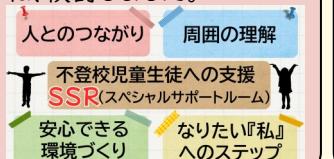
多くの皆様の御参加をお待ちしています。



■ 研究発表 III

発表番号 III -⑨

小・中学校のSSRにおける切れ目のない不登校支援のあり方について協議を重ね、検討しました。



発表番号 III -⑩

児童が「学びをつなぐ姿」に向かうための手立てを探る、小学校算数科の授業づくりに取り組みました。



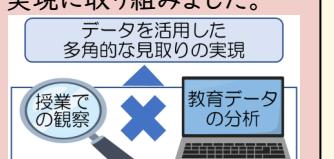
発表番号 III -⑪

ICTの特徴を生かした授業づくりや校内連携を通して、子どもの可能性を引き出すことを目指しました。



発表番号 III -⑫

「授業での観察」と「教育データの分析」を組み合わせた「多角的な見取り」の実現に取り組みました。



研究発表大会のPR動画は
こちらです。
ぜひ御覧ください。



■ 研究発表 I -④ II -⑧



滋賀大学教職大学院の現職教員学生4名が、連携協力校(勤務校)の協力を得て、学校や地域の教育課題の解決に向けて取り組みました。

センター研究員が地域や学校の研修会等に伺い、発表することができます。

お気軽にお問い合わせください。

TEL 077-588-2313(学ぶ力向上係)

